



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社ジーンズメイト 上場取引所 東
 コード番号 7448 URL <https://www.jeansmate.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富澤 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 信治 (TEL) 03(5738)5555
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,666	△32.9	△202	—	△201	—	△433	—
2020年3月期第2四半期	3,976	△6.5	86	△51.6	88	△52.9	62	△50.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期第2四半期	△30.13		—					
2020年3月期第2四半期	4.35		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,952	2,944	74.5
2020年3月期	4,307	3,378	78.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 2,944百万円 2020年3月期 3,378百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想値は、現時点では業績の合理的な算定が困難と判断し、未定としております。今後業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期2Q	16,101,466株	2020年3月期	16,101,466株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	1,728,457株	2020年3月期	1,728,417株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期2Q	14,373,027株	2020年3月期2Q	14,373,171株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルス感染症が事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから、今回の業績予想を開示しておりません。今後適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、企業の景況感の悪化と個人消費の減退など厳しい状況が続きました。新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、景気の先行きも未だ不透明な状況にあります。

当社におきましても、緊急事態宣言解除後の6月1日から全店で営業を再開し、商業施設に出店している店舗を中心に一時的な売上上の回復は見られたものの、7月以降の新型コロナウイルス感染症の再拡大や、長梅雨等の天候不順もあり、加えて渡航者に対する厳しい入国制限等によりインバウンド需要の回復も見込めず、引き続き厳しい状況で推移しております。

このような経営環境のもと、当社は今期より改めて非対面事業強化に向けてEC事業へ最注力し、人員の増強・プロモーション強化・グループ内会社との取組みによる専用商材の開発等を行うことで、前年同期対比：127.9%と着実なEC売上増を達成いたしました。加えて前期より継続する、MD改革によるプライベートブランド(PB)商品強化の為、タレント・キャラクターとのタイアップ商品の拡充や、新聞一面広告・WEB広告等のプロモーションを積極的に行いました。また、売上高の減少に応じた仕入抑制を継続することで仕入原価前年比：71.8%、期末在庫原価前年比：95.9%となりました。さらに、店舗運営人員のミニマム化・人員配置の適正化やグループ全体での横断的な各種経費に対する削減の取組み等に並行して注力することで、販管費前年同期対比：76.0%となりました。

店舗展開におきましては、不採算店舗整理のため路面店・商業施設店舗合わせて5店舗を退店し、一方でマルチブランド型MDショップ「JEM」(ジェイ・イー・エム)業態1店舗と、「OUTDOOR PRODUCTS」業態1店舗を商業施設へ出店いたしました。これらの結果、当第2四半期会計期間末の総店舗数は81店舗(うち催事契約6店舗)となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,666百万円(前年同期比：32.9%減)、営業損失202百万円(前年同期は営業利益86百万円)、経常損失201百万円(前年同期は経常利益88百万円)、四半期純損失433百万円(前年同期は四半期純利益62百万円)と減収減益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ355百万円減少し、3,952百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ230百万円減少し、2,645百万円となりました。これは主に短期貸付金が150百万円増加しましたが、現金及び預金が423百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ125百万円減少し、1,306百万円となりました。これは主に有形固定資産が84百万円減少、敷金及び保証金が38百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ77百万円増加し、1,007百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ138百万円増加し、704百万円となりました。これは主に未払金が34百万円減少しましたが、買掛金が161百万円増加、資産除去債務が44百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ61百万円減少し、302百万円となりました。これは主に資産除去債務が43百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ433百万円減少し、2,944百万円となりました。

これは主に四半期純損失を433百万円計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前事業年度末に比べ423百万円減少し、639百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、263百万円(前年同四半期は171百万円の獲得)となりました。これは主に税引前四半期純損失が417百万円、仕入債務の増加による獲得が161百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、136百万円(前年同四半期は66百万円の支出)となりました。これは主に敷金及び保証金の差入及び回収に伴う純収入が23百万円となりましたが、貸付けによる支出が150百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、23百万円(前年同四半期は22百万円の支出)となりました。これは主にリース債務の返済による支出が23百万円となったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内ではコロナウイルス感染症の新規感染者数が再び増加し、また海外では一部の国で再び都市封鎖の厳しい対策を打ち出すなどしていることから、国内外の経済活動や消費マインドの動向が極めて見通しづらい状況にあります。この先行き不透明な状況の中で、売上規模の大きい年末年始商戦を含めた今後の業績の合理的な算定をすることが現時点では困難と判断し、通期業績予想値を未定としております。今後業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,135,432	711,782
売掛金	194,476	188,162
商品	1,433,641	1,420,487
短期貸付金	—	150,000
その他	112,732	175,451
流動資産合計	2,876,283	2,645,884
固定資産		
有形固定資産	206,445	122,235
無形固定資産	6,385	7,019
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,210,560	1,171,756
長期未収入金	166,080	165,530
その他	8,115	5,280
貸倒引当金	△166,080	△165,530
投資その他の資産合計	1,218,675	1,177,037
固定資産合計	1,431,506	1,306,291
資産合計	4,307,790	3,952,176
負債の部		
流動負債		
買掛金	190,525	351,827
未払金	195,505	161,179
未払法人税等	65,545	40,035
賞与引当金	19,505	20,220
店舗閉鎖損失引当金	2,081	303
資産除去債務	8,816	53,672
その他	83,654	77,072
流動負債合計	565,635	704,310
固定負債		
資産除去債務	312,826	268,987
その他	51,253	33,896
固定負債合計	364,080	302,884
負債合計	929,715	1,007,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,338,387	2,338,387
資本剰余金	2,448,009	2,448,009
利益剰余金	△146,955	△580,039
自己株式	△1,261,365	△1,261,375
株主資本合計	3,378,075	2,944,981
純資産合計	3,378,075	2,944,981
負債純資産合計	4,307,790	3,952,176

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	3,976,717	2,666,614
売上原価	1,960,042	1,403,677
売上総利益	2,016,675	1,262,937
販売費及び一般管理費	1,930,051	1,465,893
営業利益又は営業損失(△)	86,624	△202,955
営業外収益		
受取利息	10	471
その他	2,199	1,855
営業外収益合計	2,210	2,327
営業外費用		
その他	300	498
営業外費用合計	300	498
経常利益又は経常損失(△)	88,534	△201,126
特別利益		
助成金収入	—	81,203
特別利益合計	—	81,203
特別損失		
減損損失	5,140	86,344
臨時休業等による損失	—	209,052
店舗閉鎖損失	803	1,447
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	303
特別損失合計	5,944	297,147
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	82,590	△417,069
法人税等	20,117	16,014
法人税等合計	20,117	16,014
四半期純利益又は四半期純損失(△)	62,473	△433,084

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	82,590	△417,069
減価償却費	14,004	15,104
減損損失	5,140	86,344
賞与引当金の増減額(△は減少)	△41,699	715
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△1,778
受取利息及び受取配当金	△10	△471
売上債権の増減額(△は増加)	53,989	6,313
たな卸資産の増減額(△は増加)	22,796	13,153
仕入債務の増減額(△は減少)	143,929	161,302
助成金収入	—	△81,203
未払金の増減額(△は減少)	△29,695	△14,197
未払消費税等の増減額(△は減少)	△42,099	△18,770
その他	△2,199	△12,315
小計	206,745	△262,875
利息及び配当金の受取額	10	8
助成金の受取額	—	37,445
法人税等の支払額	△35,701	△37,651
営業活動によるキャッシュ・フロー	171,055	△263,072
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,044	△1,808
無形固定資産の取得による支出	—	△2,615
貸付けによる支出	—	△150,000
資産除去債務の履行による支出	△1,228	△4,102
敷金及び保証金の差入による支出	△28,608	—
敷金及び保証金の回収による収入	12,483	23,959
その他	△4,871	△2,339
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,269	△136,905
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△6	△9
リース債務の返済による支出	△22,048	△23,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,055	△23,683
現金及び現金同等物に係る換算差額	△69	11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	82,660	△423,649
現金及び現金同等物の期首残高	1,402,352	1,063,432
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,485,012	639,782

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。